

滋賀県大津市の死亡野鳥から A型鳥インフルエンザウイルスを検出!!

1月23日に滋賀県大津市で回収された死亡野鳥（ハシボソガラス）から、本日、A型鳥インフルエンザウイルスが検出されました（病原性は確認中）。

現在、国内の家きん農場では25道県70事例で高病原性鳥インフルエンザが発生し、1,235万羽が処分されています。

防鳥ネットや鶏舎周囲の消毒等、防疫対策の徹底をお願いします。

<経緯>

1月23日

・滋賀県大津市で死亡したハシボソガラス1羽を回収。同日の簡易検査では陰性

1月30日

・国立環境研究所の遺伝子検査により、A型鳥インフルエンザウイルスを検出

<対応>

・回収地点周辺10km圏内を野鳥重点監視区域に指定し監視強化（一部、京都市を含む）



厳戒態勢で発生予防対策を徹底して下さい!

飼養衛生管理基準を遵守するとともに、次の重要ポイントを実施しましょう!!

- ・農場内や鶏舎周囲の消毒（消石灰散布など）を毎日実施!
- ・防鳥ネットや鶏舎の破損箇所は直ちに補修し、野生動物の侵入防止対策を徹底!
- ・衛生管理区域専用の衣服の着用、鶏舎ごとの専用長靴の設置や手指消毒の実施!
- ・鶏舎ごとの専用長靴は、鶏舎外で使用するものと交差汚染しないよう注意!
- ・長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽等の消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換!

京都府中丹家畜保健衛生所 **※異状が見られたら、すぐに連絡して下さい。**

TEL 0773-25-1860（休日・夜間は転送されます） FAX 0773-25-1861